



基本計画◎第3章

人が輝き 文化が薫る 学びのまち



1 学校教育

現状と課題

本市では、少子高齢化・過疎化に伴い園児・児童・生徒数が年々減少しており、平成17年度においては複式学級の設置の対象となる小学校が14校と過半数を占めており、将来的にも15歳未満人口は減少していくものと予想されます。

こうした状況を踏まえ、少人数校ならではの、きめの細かい教育を推進するとともに、時代の変化に対応した教育内容の充実や、学校・家庭・地域が連携した特色ある学校づくりなどが必要となります。

また、幼稚園や小・中学校における園児・児童・生徒の安全性を高めるため、老朽化した施設の改造・改築が急務であるとともに、不審者の侵入を未然に防ぐチェック機能や、万一の場合に備えた防衛対策を講じることが必要です。

幼稚園の状況（平成17年5月1日現在）

	単位	明浜地区	宇和地区	野村地区	城川地区	三瓶地区	合計
公立	幼稚園数	園	—	—	6	—	6
	学級数	学級	—	—	16	—	16
	園児数	人	—	—	110	—	110
	教職員数	人	—	—	20	—	20
私立	幼稚園数	園	—	1	—	1	2
	学級数	学級	—	3	—	3	6
	園児数	人	—	46	—	46	92

資料：学校基本調査。

小学校の状況（平成17年5月1日現在）

	単位	明浜地区	宇和地区	野村地区	城川地区	三瓶地区	合計
学校数	校	4	7	7	4	5	27
学級数	単式学級	学級 15 (1)	57 (6)	41 (4)	15	30 (4)	158 (15)
	複式学級	学級 5	1	4	4	3	17
	計	学級 20	58	45	19	33	175
児童数	人	169	993	548	198	386	2,294
教職員数	人	37	92	73	34	55	291

資料：学校基本調査。

注：「単式学級」欄中の（ ）は特殊学級数で単式学級の内数。

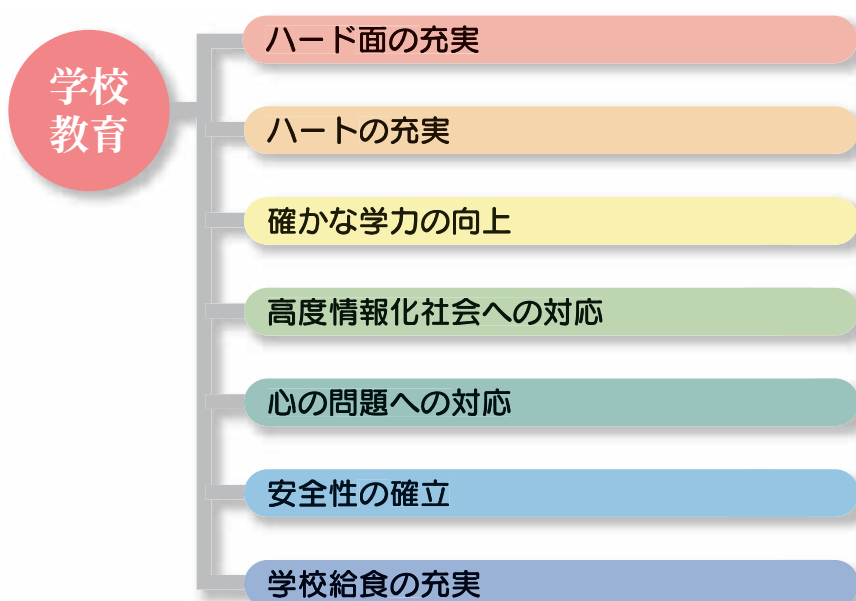
中学校の状況（平成17年5月1日現在）

	単位	明浜地区	宇和地区	野村地区	城川地区	三瓶地区	合計
学校数	校	1	1	1	1	1	5
学級数	単式学級	学級 4 (1)	16 (2)	9	6 (1)	7	42 (4)
	複式学級	学級 —	—	—	—	—	—
	計	学級 4	16	9	6	7	42
生徒数	人	100	491	324	128	215	1,258
教職員数	人	12	35	23	14	18	102

資料：学校基本調査。

注：「単式学級」欄中の（ ）は特殊学級数で単式学級の内数。

計画の体系



計画の内容

(1) ハード面の充実

施設の老朽化や耐震性を勘案し、校舎・体育館・プール・運動場等について順次、改築・改修などを行います。また、今後予想される生活バス路線の廃止に伴って、児童生徒の通学に支障が生じないように、移動手段の確保に努めます。

(2) ハートの充実

地域に根ざしたふるさと体験学習や環境学習、地域ボランティア^{*}活動等により学校と地域社会の協働^{*}を図り、地域社会活動への参加を通して郷土愛の醸成や思いやりの心を育てます。

(3) 確かな学力の向上

平成14年度から実施された完全学校週5日制により、授業時数が減少したことに伴う学力低下が問題視される中、少人数学級の利点を生かした、きめの細かい指導を行っていくとともに、児童・生徒一人ひとりに基礎・基本の定着を図るための教職員の指導力強化に努めます。

(4) 高度情報化社会への対応

高度情報化に伴い、いろいろな情報があふれている社会の中で、個性を伸ばしつつ、情報を精選して役立てることができる能力が身につく、良好な情報教育環境を提供します。

(5) 心の問題への対応

いじめや不登校などの心の問題に対し、相談・指導の充実に努めるとともに、家庭や地域と一体となった指導体制づくりを進めます。

(6) 安全性の確立

児童生徒が安心して教育を受けることができるよう、安全な教育環境づくりに努め、地域社会全体で子どもたちを見守っていく体制づくりに努めます。

(7) 学校給食の充実

給食施設・設備の整備充実や安全衛生管理の強化を進めるとともに、食育^{*}の推進により、栄養のバランスに配慮し、地場産品の使用に努め、生産者が見える安全でおいしい給食の提供に努めます。

ボランティア

【volunteer】

自発的に事業に参加する人。特に、社会事業活動に無報酬で参加する人。篤志奉仕家。

協働

同じ目的のために、それぞれの役割分担のもとで協力して働くこと。

食育

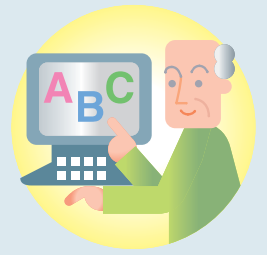
食について考え、健全で安心な食生活を実現できるよう、食品の安全性、食事と疾病との関係、食品の栄養特性やその組み合わせ方、食文化、地域固有の食材等を理解するために情報提供や実践活動を行うこと。

主要
事業

安全で時代に即した教育環境の整備・充実

地域と共に歩む教育の推進

カウンセリング※機能の充実



2 生涯学習

現状と課題

社会・経済情勢の変化に伴い、住民の価値観が多様化する中、生涯をよりよく生きたいという願いは万民共通のものとなっています。本市には28の公民館（中央、地区）がほぼ小学校区域ごとに設置され、住民に最も身近な教育施設として社会教育関係団体やグループ、自治会の活動等、地域と密接に関わってきました。

今後、「学び」による地域づくりを推進するためには、総合的、体系的な学習体制と組織の整備を進めるとともに、公民館を生涯学習の拠点として、施設の充実と職員資質の向上、地域間交流に積極的に取り組むなど、学習機能の向上に努める必要があります。

また、本市中央公民館においては、利用環境の改善はもとより、図書館や他の生涯学習関連施設との連携を図り、「人材」から「人財」への理念のもと、自主グループ活動の奨励や支援とともに、市民を対象とした広域的な生涯学習講座の開催や集会事業を充実していく取り組みが望まれます。

主な生涯学習・文化施設の状況（平成17年4月1日現在）

（単位：箇所）

	会館等 文化	公民館	公民館 分館	図書館	資料館 博物館	体育館	プール	競技場 陸上	グランド 多目的	野球場	青年の家 自然の家
明浜地区	—	5	2	—	1	1	—	—	1	—	—
宇和地区	1	8	—	1	4	1	1	1	1	1	—
野村地区	—	6	—	1	1	1	1	—	1	1	1
城川地区	—	5	60	—	4	1	1	—	1	—	1
三瓶地区	1	4	19	—	—	1	—	—	1	—	—
合計	2	28	81	2	10	5	3	1	5	2	2

資料：教育委員会調。

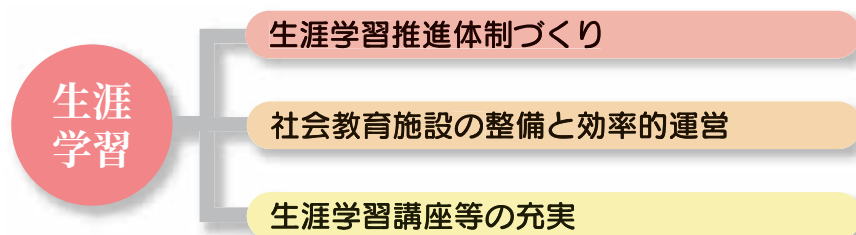
注：施設の中に公民館が2館在するときは「2」で計上し、公民館分館を分けて示した。

カウンセリング

【counseling】

学業や生活、人間関係などで悩みや適応上の問題を持つ人に対して、心理学的な資料や経験に基づいて援助すること。

計画の体系



計画の内容

(1) 生涯学習推進体制づくり

生涯学習推進本部の体制を確立し、生涯を通して学べる機会をつくること、また学んだことが評価され、地域で生かせる学習支援体制を構築し、生涯学習ボランティア*の育成や活動等、「学びによる生きがいづくり」につなげます。

(2) 社会教育施設の整備と効率的運営

本市の情報通信設備を活用し、広域にわたる生涯学習のニーズ*をとらえ、公民館、図書館等、社会教育施設の利便性の向上に努めます。

また、自治組織や活動団体の主体的な管理運営を促すなど、施設の効率的運営を推進し、ボランティアの養成等、自治公民館活動の推進とあわせて、地域あがての運営協力体制をつくります。

(3) 生涯学習講座等の充実

実生活に役立つ暮らしの講座や生きがいにつなげる趣味の講座、広域的な講演会や人権・同和教育等の集会事業の実施により、生活にうるおいをもたらし、豊かな人間性を育みます。

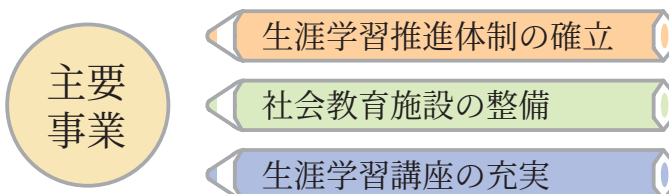
また、「西予まるごと博物館」の一環として、自慢できる集落づくりのため、地元を再発見し、その特性を生かした「地域学」講座に取り組みます。

ボランティア

【volunteer】
自発的に事業に参加する人。
特に、社会事業活動に無報酬
で参加する人。篤志奉仕家。

ニーズ

【needs】
必要。要求。需要。





3 スポーツ

現状と課題

スポーツ・レクリエーションは、地域住民の健康や体力の保持増進に役立つだけでなく、住民相互の親睦や交流を深め、豊かな地域社会を形成するものとして、重要な役割を担っています。

本市では、体育協会を中心とした各種スポーツ団体の活動を支援しており、子どもからお年寄りまで、余暇の活用と健康増進を兼ねたスポーツ活動が盛んに行われています。

これらの活動を日常化し、スポーツ人口を定着させていくためには、市民皆スポーツの環境づくりとともに、スポーツ施設の整備や有効利用を推進し、あわせて各世代・レベルに応じた多様な指導者の育成に努める必要があります。

また、スポーツ立市として市民ニーズを反映したイベント*を行い、スポーツ交流を進めていくことが望まれます。

計画の体系

スポーツ

スポーツ団体・クラブの育成

スポーツ指導者の育成

レジャースポーツの普及

スポーツ交流の推進

スポーツ施設の整備と有効利用



イベント
催し物。行事。

計画の内容

(1) スポーツ団体・クラブの育成

体育協会や各種団体の活動を育成していくとともに、クラブの形態については、地域の実情にあった総合型地域スポーツクラブ^{*}への転換を支援・誘導します。

(2) スポーツ指導者の育成

指導者講習会等の開催により、市民ニーズ^{*}に合った指導者の育成を図ります。

(3) レジャースポーツの普及

本市の地理的特性を生かしたレジャースポーツの普及を図っていきます。

(4) スポーツ交流の推進

各分野で活躍しているメジャー^{*}なスポーツ団体を招待し、合宿の開催やスポーツ施設の利用を働きかけ、市民とのスポーツ交流を行い、チーム・個人のレベルアップにつながるスポーツ交流を推進します。

(5) スポーツ施設の整備と有効利用

既存スポーツ施設の改修を図るなど、南予地域の拠点として主要な大会が開催できる施設整備を行います。

また、総合型地域スポーツクラブ設立に対応できるよう、学校など教育関係施設と連携・調整を図り、施設の有効利用を図ります。

総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体的に運営するスポーツクラブのことで、多様な興味・関心、さまざまな技術レベルを持つ人々が、世代を越えて集まり、いろいろなスポーツを楽しむことができる場。

ニーズ

【needs】
必要。要求。需要。

メジャー

【major】
主要な位置を占めること。
また、そのさまや、そのもの。

主要事業

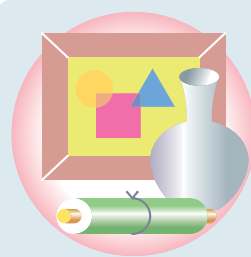
スポーツ団体、指導者の育成

スポーツを通じた交流の推進

スポーツ施設の整備・改修



4 芸術・文化、文化財

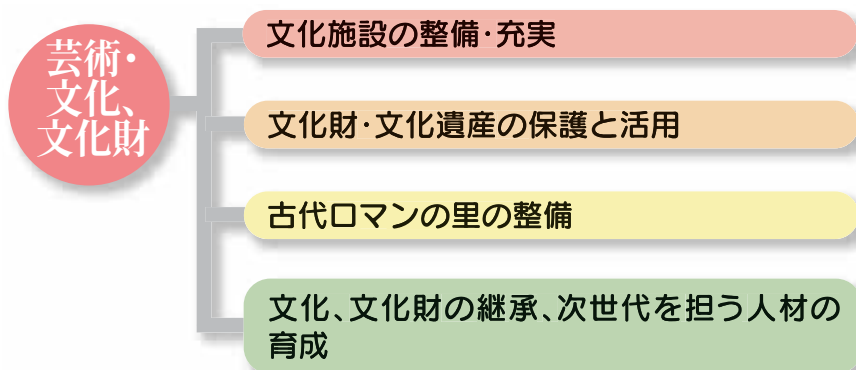


現状と課題

本市は、文化財の保護・活用を目的とした文化財保護条例を制定しており、平成17年4月1日現在、指定文化財は、国・県・市で244件、周知の埋蔵文化財包蔵地が285か所存在しています。古墳や遺跡などの埋蔵文化財や歴史・文化の中で育まれてきた無形民俗文化財、その他各種文化財の現状を把握した上で、それぞれの特色を生かした保護・活用を図っていく必要があります。

また、文化事業の推進を図るため、各文化団体への活動支援や指導者の養成の充実に努めていくとともに、文化会館をはじめ各文化施設についても、これらの施設を有効に活用し施設間の連携を図って、市民の生活や文化の向上に役立てる必要があります。

計画の体系



計画の内容

(1) 文化施設の整備・充実

地域文化の育成と発展を図るため、活動拠点となる文化施設の整備・充実・連携を図ります。

(2) 文化財・文化遺産の保護と活用

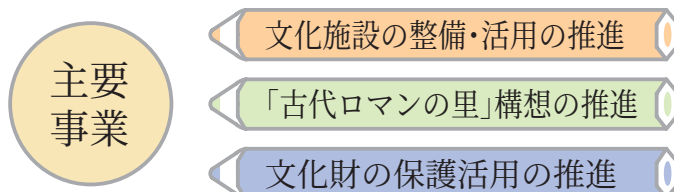
伝統的建造物群保存地区の景観整備をはじめ、文化財・文化遺産を保護し次世代へ継承するとともに、登録文化財制度などの積極的な活用を図り、市民の生活や文化の向上に努めます。

(3) 古代ロマンの里の整備

「西予まるごと博物館」の一環として、「古代ロマンの里」整備活用基本計画に基づき、古墳など遺跡の保存整備と考古館の建設など景観創造を図り、悠久の歴史空間の中で、郷土愛の醸成、ゆとり、癒しなどを提供する市民の潤いの場として活用します。

(4) 文化、文化財の継承、次世代を担う人材の育成

伝統芸能などを継承し発展させるため、文化団体への活動支援の充実はもとより、学校教育との連携を図り、教育現場への文化財の活用を積極的に働きかけ、人材の育成を図ります。



5 青少年育成

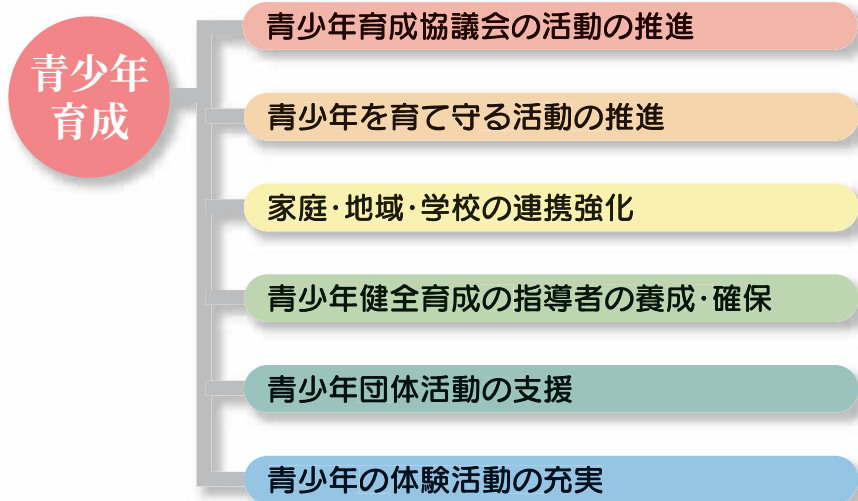
現状と課題

本市では、愛護班活動を中心にして家庭・地域・学校が相互に協力して、地域に根ざした心豊かな青少年を育てる取り組みに努めています。しかし、生活スタイルの変化や情報の氾濫に伴い、都市型犯罪が増加する可能性も否めません。

平成17年度に「青少年補導センター」が拡充され、これに加えて、子どもの緊急避難場所「まもる君の家」を市内各地に設置して、安全対策が進められています。

また、「青少年育成協議会」は、時代や青少年の変化に的確に対応できる機能的な機関としての役割を、全市あげた地域ぐるみの活動としてより強化させていくことが重要です。

計画の体系



計画の内容

(1) 青少年育成協議会の活動の推進

青少年育成協議会の組織を充実し、青少年健全育成につながる活動を積極的に進めます。

(2) 青少年を育て守る活動の推進

心豊かでたくましく人間性あふれる青少年を育てるため、健全な地域環境づくりと、心の通い合うあいさつ運動を市民総ぐるみで進めます。

また、緊急避難場所として設置している「まもる君の家」により子どもたちを犯罪から守るとともに、地域での防犯活動の意識を高めます。

(3) 家庭・地域・学校の連携強化

家庭・地域・学校、そして関係団体・機関との連携を強化し、非行防止活動や補導活動、環境浄化活動に取り組みます。

(4) 青少年健全育成の指導者の養成・確保

子どもたちの自主的な活動を促進するため、指導者研修の充実や先進地への派遣等を通じて、PTA や愛護班、ボーイスカウト等リーダーの育成と人材の確保に努めます。

(5) 青少年団体活動の支援

健全な精神と身体の発育を促すスポーツ少年団や子ども会等の団体活動の活性化を支援します。

(6) 青少年の体験活動の充実

学校カリキュラム*の変化や週5日制により、地域でのボランティア*活動や野外活動、また通学合宿等の体験活動事業の一層の充実を図り、青少年期の豊かな人間関係を育みます。

主要事業

青少年健全育成体制の強化

青少年団体活動の活性化

青少年の体験型育成事業の推進



6 国際化・地域間交流

現状と課題

世界中の国々が、地球的規模の相互交流を進め、インターネット*や衛星放送等によって、情報はリアルタイム*で世界をかけめぐっています。

また近年では、政治・経済・文化の交流が地域においても日常化しつつあり、豊かな国際感覚を有する人づくりは今後ますます重要になってきています。

現在でも、既存の文化施設や産業施設、祭り、イベント*等を核としてさまざまな交流が図られていますが、さらにこれからは、本市の特性である海拔0メートルから1,400メートルにわたる豊かな自然や文化遺産を有機的につなげた、特色ある内外の交流を進めていく必要があります。

計画の体系

国際化・地域間交流

海外派遣事業の推進

外国人講師の招へい

ホームステイの受け入れによる相互理解の推進

友好都市提携の検討

文化施設・観光施設を活用した交流の推進

カリキュラム (教育カリキュラム)

【curriculum】
教育課程。学校教育の内容・計画を発達段階や学習目的に応じて配列したもの。

ボランティア

【volunteer】
自発的に事業に参加する人。特に、社会事業活動に無報酬で参加する人。篤志奉仕家。

インターネット

【Internet】
個々のコンピューター通信ネットワークを相互に結んで、世界的規模で電子メールやデータベースなどのサービスを行えるようにした、ネットワークの集合体。

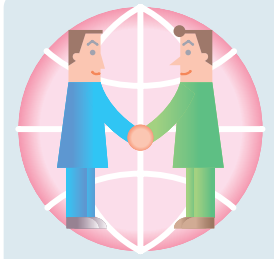
リアルタイム

【real time】
同時。即時。

イベント

催し物。行事。

計画の内容



(1) 海外派遣事業の推進

子どもたちや青少年を海外に派遣し、国際感覚を身につけるなかで、地球規模の視野で考えることのできる世界標準の西予市民を育てます。

(2) 外国人講師の招へい

外国語指導助手や国際交流員などを招へいし、語学教育を通じた国際化を推進するとともに、交流を深めることによって国際感覚を高めます。

(3) ホームステイの受け入れによる相互理解の推進

市民によるホームステイ*等の外国人受け入れや交流を支援し、異文化を理解し、国際交流につなげていくことができる地域づくりを目指します。

(4) 友好都市提携の検討

国際交流や地域間交流をより深めていくため、つながりの深い海外や国内のまちとの友好都市提携を検討します。

(5) 文化施設・観光施設を活用した交流の推進

さまざまな学習や体験ができる市内の施設内容を充実させ、情報を発信していきます。また、インターネットなどを活用して地域外の文化施設や学校との情報交流も進めます。

主要事業

国際感覚の養成

友好都市提携の検討

国際交流・地域間交流の推進



ホームステイ

【homestay】

地元家庭に、家族の一員として一時的に迎え入れてもらい、生活すること。